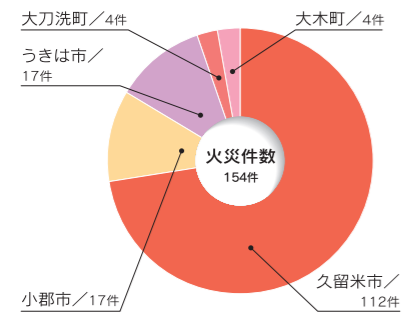


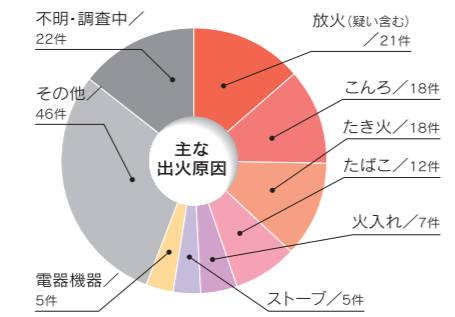
平成27年 久留米広域消防本部管内災害統計

**火災概況** 平成27年中における管内の火災発生件数は154件で、2.4日に1件発生しています。

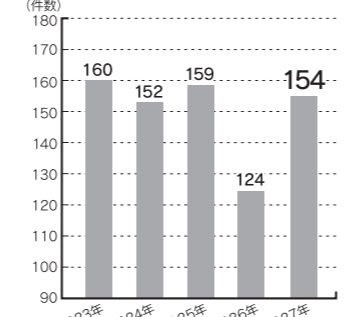
●構成市町別発生件数



●出火原因別発生件数

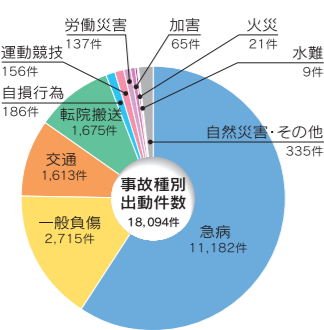


●発生件数(過去5年間)

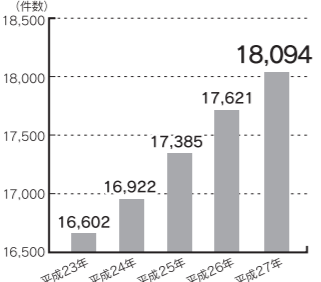


**救急概況**

救急出動件数18,094件で、前年(17,621件)と比べ473件増加し、過去最高の件数となっています。

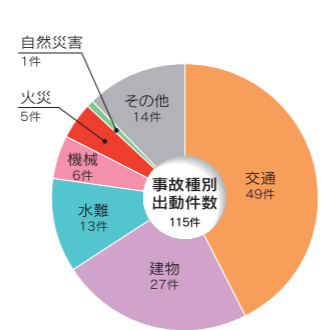


●救急出動件数(過去5年間)

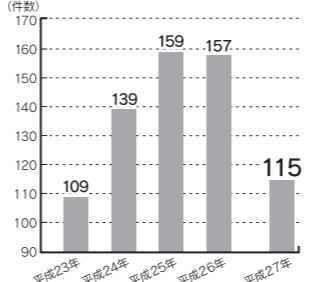


**救助概況**

救助出動件数115件で、前年(157件)と比べ42件減少しています。

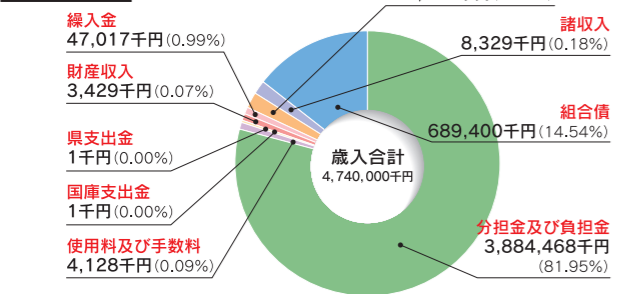


●救助出動件数(過去5年間)

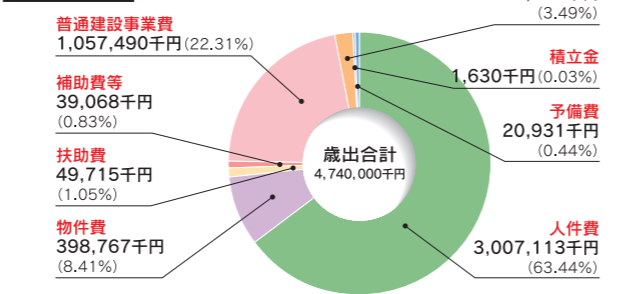


平成28年度 広域消防特別会計予算

**歳入予算**



**歳出予算**



平成28年度の主な事業

- 救急救命士養成事業(8,108千円)**  
救急活動のスペシャリストである救急救命士を3名養成し、救急サービスの向上を図ります。
- 消防資機材整備事業(7,000千円)**  
多種多様の災害に対応するため、災害現場において使用する空気呼吸器や潜水器具、エンジンカッター等の整備・更新を行います。
- 消防施設整備事業(838,490千円)**  
久留米消防署普賢寺出張所及び三漕消防署の建替え工事や、旧久留米消防署東出張所庁舎の解体工事、消防本部庁舎の改修等を行います。
- 消防車両整備事業(219,000千円)**  
老朽化した救急車・指揮車各2台、救助工作車の更新を行います。



**消防職員募集** 地域住民の安全・安心を守るために働く消防士。私達と一緒に働く熱意のある人を募集します！  
**受験資格** 採用試験の受験資格は、男女を問わず採用予定日において18歳以上27歳未満となっています。なお、詳細は8月上旬にホームページ等においてご案内いたします。  
採用試験に関するお問い合わせ先 **人事研修課 0942-38-5163**

**お知らせ**  
(一財)自治総合センターは、宝くじの社会貢献事業として、宝くじの受託事業収入を財源にコミュニティ助成事業を実施しています。この宝くじの助成金により下記の資機材を整備しました。少年消防クラブの訓練や防火・防災イベント等で活用します。  
●幼年消防クラブ 鼓笛隊セット/法被  
●少年消防クラブ 消火体験装置/活動服/視聴覚資機材

災害情報や日曜祝日に診療できる病院の案内電話番号 **0180-999-789**

久留米広域消防本部ホームページでも災害情報や日曜祝日に診療できる病院を見ることができます。  
**久留米広域消防本部**

**ホームページアドレス**  
<http://www.fire-city.kurume.fukuoka.jp/fire/index.html>  
消防に対するご意見・ご要望等がございましたらホームページからメールでお寄せください。

く る め こ う い き  
**久留米広域**

**消防だより**

消防活動レポート 管内の各消防署では、地域と連携して様々な活動を行いました。

**第9回 ふれあい防災イベント**

久留米消防署

10/10(土)



当日は、多くの市民の方にご来場いただき、はしご車の体験試乗をはじめ、消防クイズや消防音楽隊の演奏などを通して、消防・防災について楽しく学んで頂くことができました。

**小郡市庁舎 火災防ぎと訓練**

三井消防署

1/18(月)



防災とボランティア週間(1/15~1/21)にちなみ、小郡市役所で市職員の防火意識の高揚と消防署、消防団の連携強化を図ることを目的に、火災防ぎと訓練を実施しました。

**白壁の町並みで 火災防ぎと訓練**

浮羽消防署

9/6(日)



伝統的な白壁の町並みを火災から守ろうと、吉井町の伝統的建造物群保存地区において住民、消防団等の関係機関と合同訓練で火災防ぎと訓練等、様々な訓練を実施しました。

**職場体験**

三漕消防署

8月~9月



管内所在の3中学校の24名の生徒が職場体験に訪れ、働くことの厳しさや喜び等を学びました。後日、生徒達から「教えてもらったことは今でも続いています。将来は人の役に立つ仕事に就きたい。」等と書かれたお礼の手紙が届きました。



平成28年  
4月1日～

# 久留米市ドクターカー 本格運行開始!

～ドクターカー 24時間体制へ～

本事業は、ドクターヘリ(医師・看護師が救急現場等に出勤するヘリコプター)の運用を補うことを目的に久留米大学病院、久留米市及び当消防本部が連携し、重症傷病者発生時に医師・看護師が救急ワークステーション(救急隊員及び車両を医療機関に派遣して教育実習を行うこと)の救急車に同乗して現場に急行し、早期の医療行為を行うシステムです。



平成27年1月から始めた試験運行は、救命率の向上に効果がみられていますので、早期の医療行為を久留米市全域に拡大し、救急ワークステーションを派遣型から常駐型に、運行時間も拡大することで更なる救命率の向上を目指して、平成28年4月1日から本格運行を開始します。

(主な変更点)

	運行時間	出動エリア	救急ワークステーション
試験運行	365日 9時～18時	久留米市中心部	派遣型
本格運行	365日 24時間	久留米市全域	常駐型



## より良い応急手当を提供するため、 ご協力ください!

救急隊は、病気や怪我の傷病者を医療機関へ搬送し、医師の管理下に置かれるまでの間において、必要な応急処置や救急救命処置を行います。

救急活動時には、症状に応じた適切な医療機関を選定するために、次の項目を尋ねることがあります。救急隊は、尋ねた情報を医療機関(医師)に伝え、受け入れを依頼します。



### 救急活動時に尋ねる項目は、以下のとおりです。

傷病者の住所・氏名・年齢	自分の名前や生年月日が言えるかなど、意識の状態を確認する目的があります。
救急車の要請に至った経緯	急激に発症したものか、徐々に悪化したものか、どのような事故なのかなどにより、事故の状況や病気の状態を確認します。
具体的な症状 など	頭が痛い、お腹が痛い、吐き気がする、めまいがするなど具体的な症状を確認します。
かかり付け医や服用薬 など	搬送先の医療機関への情報提供により、搬送後速やかな処置や治療開始へ繋がります。
持病の有無 など	今回の救急要請が持病の悪化であるか、または違う症状や病気の疑いがあるかなどの判断の一助とします。

※上記以外にも医師の指示などにより、尋ねることがあります。

※傷病者の症状や状態、又は医療機関の状況により希望する医療機関に搬送できないことがあります。

※症状に応じた適切な医療機関の選定等のためにも、救急活動にご協力をお願いします。

## 活躍する女性消防職員

～皆さん、消防職員は、男性ばかりと思いませんか?～

平成28年4月1日現在、当消防本部には8名の女性消防職員が在職し、火災や救急などに出勤する24時間勤務をはじめ、火災予防や総務業務の事務部門など幅広い分野で活躍しています。

当消防本部では、庁舎の環境整備をはじめ、職域拡大や処遇改善を図るなど、女性職員が働きやすい職場づくりに取り組んでいます。



平成28年  
4月1日～

## 筑後地域消防指令センター 本格運用開始!

当消防本部は、筑後地域の他の7消防本部と共同で、「筑後地域消防指令センター」を整備し、平成28年4月1日より本格運用を開始します。

筑後地域の119番通報は、すべてこの指令センターにつながります。通報の際は、慌てず、落ち着いて指令員の質問に教えてください。

### 「火災情報メール配信システム」が変更になりました

当消防本部から配信していた火災情報メールは終了し、同指令センターから新たに配信を開始しています。メールの配信を希望する人は、再登録が必要です。以下のURLから登録をお願いします。

<http://www.center-chikugo119.jp/fire/saigai/pb/mobile/pb.html>



住所は、  
市町村名から  
教えてください!



平成27年  
11月17日

## 久留米消防署東出張所の 開所式を行いました!

当消防本部では、国道の拡張事業に伴い移転が必要となった久留米消防署東出張所の開所式を11月17日に行いました。移転先は、消防署所の配置をより適正化するため、道路状況を踏まえて山川沓形町に庁舎を構えています。

新庁舎は、経済性や環境に配慮した施設で、女性職員専用のスペースを整備しています。また、高度な知識、技術を有する管内唯一の高度救助隊を配置しているため、複雑多様化する高度救助需要に対応できる訓練施設を備えています。

